

結婚から50年。金婚おめでとうございます！ 阿蘇市で81組が金婚表彰

第54回金婚夫婦表彰及び阿蘇市金婚式が9月5日、阿蘇リゾートグランヴィリオホテルで開催されました。対象となったのは昭和37年に結婚されたご夫婦で、81組が表彰されました。

式典では、代表して岩下一之信・イツ子夫妻に、熊本日日新聞社から表彰状が授与された後、佐藤市長が一組ずつ表彰状を手渡しました。

最後に鍋島亀幸・實子夫妻が代表謝辞を述べ「この日を迎えた事に感謝し、今後も地域のために協力していきたい」と感謝の意を告げられました。



代表謝辞を述べる鍋島夫妻。

祝 金婚を迎えた81組の皆さん

(氏名は行政区順、敬称略)

| | | |
|-------------------|-----------------|-----------------|
| 栗林 司人・明子 (町1区) | 西村 北支・トメ子(上西河原) | 赤星 恵・恵美子(竹原) |
| 岩永 浩・たか (町1区) | 松田 博文・ルリ子(下西河原) | 岩本 幸夫・怜子 (東黒川) |
| 塚本 勝志・良子 (北2区) | 笹原 誠一・米 (片隅) | 松野 吉光・ひろ (坊中) |
| 中村 辰司・節子 (北2区) | 井野 悦雄・多歌代(荻の草) | 中元 徹・トク子(坊中) |
| 中島 幸雄・幸子 (東1区) | 渡邊 保介・武子 (内牧1区) | 山下 次男・伸子 (坊中) |
| 井 君雄・佳子 (東3区) | 山口 正・順子 (内牧2区) | 竹原 暎光・マサ子(南黒川) |
| 今村 義照・ハル子(西2区) | 青井 云孟・テイ子(内牧3区) | 江藤 靖男・ヨシ子(北黒川) |
| 鍋島 亀幸・實子 (古神1区) | 田島 稔生・壽美子(内牧4区) | 森 安人・フチ子(下西黒川) |
| 山口 政士・ハツエ(分1区) | 池田 信雄・ツヨ (内牧5区) | 石本 義幸・サワ子(下西黒川) |
| 中村 幸典・彰子 (分1区) | 長尾 甚吉・タミ子(内牧5区) | 塚本 司・弘子 (乙姫) |
| 石本 隆男・文子 (分2区) | 市原 修一・順子 (内牧5区) | 吉良 茂生・島子 (乙姫) |
| 山部 司馬雄・ユウ子(塩塚) | 野上 文夫・ケイ子(湯浦) | 松本 克巳・ケイ子(乙姫) |
| 山部 福二・久子 (塩塚) | 阿部 昭光・ツヤ (折戸) | 長野 登・カツ子(乙姫) |
| 古閑 一郎・サヤ (古閑) | 田中 登・千鶴子(浜川) | 高見 和明・立子 (黒川千丁) |
| 高木 靖邦・ケイ子(古閑) | 児玉 恒和・節子 (原の口) | 川本 友吉・カチ子(赤水) |
| 市原 正三・エミ子(神石) | 江藤 健一・良子 (小倉) | 中野 常昭・紀美子(赤水) |
| 志賀 昭男・レイ子(桜町) | 西村 友次・文子 (西小倉) | 吉田 英三・ユキ子(車帰) |
| 井野 政廣・朝子 (古城2区) | 橋本 信秀・立子 (黒流町) | 石島 政廣・ヌイ子(狩尾1区) |
| 甲斐 二六・カツ子(古城3の1区) | 長尾 眞澄・敦子 (今町) | 本田 敏満・勝子 (狩尾1区) |
| 古閑 一郎・ミチ子(古城3の2区) | 坂梨 清人・ハル子(今町) | 市原 一夫・紀子 (狩尾3区) |
| 古閑 範治・スエ (古城3の2区) | 山本 幸助・冷子 (新村) | 杉島 隆義・キヨ子(跡ヶ瀬) |
| 森永 武徳・千代子(古城5の1区) | 岩下 三吉・マサ子(本村) | 家入 肇治・紀美代(的石) |
| 倉岡 秀光・ヤチ子(古城5の1区) | 高野 修藏・明子 (本村) | 岩下 明・ミツヨ(笹倉) |
| 白石 忠光・フィ子(古城5の1区) | 伊藤 義美・晴子 (西町) | 岩瀬 與・フジ子(横堀) |
| 和田 基・芙紗子(古城5の2区) | 渡邊 静雄・ツユ子(西町) | 岩下一之信・イツ子(滝水) |
| 山岡 力男・三重子(古城6区) | 小野 袖行・カヨ子(竹原) | 佐藤 誠一・美佐子(滝水) |
| 井手 主計・キミ子(上井手) | 大津 照男・フヨ子(竹原) | 井上 敏男・和子 (滝水) |

今月の Pick up!

阿蘇ジオパーク推進協議会など関係6団体は9月14日、ジオパークの運営に大変重要な役割を担うガイドの増員を図るため、阿蘇ガイド養成講座実行委員会(池辺伸一郎会長)を設立しました。

現在、阿蘇火山博物館やNPO法人阿蘇ミュージアムがガイド付きのツアーを山上一帯で行っていますが、今後、修学旅行などを利用した環境学習や、より阿蘇を知る観光でガイド付きツアーの需要増加が見込まれ、ガイドの養成に取り組んでいます。

「阿蘇ガイド養成講座実行委員会」を設立
阿蘇地域の火山、歴史、文化等を伝えるガイドの増員を図る



あなたも、阿蘇を正しく説明できる知識を身につけませんか？

養成講座では、基礎編を修了すると「阿蘇インタープリター」に、さらに専門編を修了すれば「阿蘇ジオパークガイド」に認定されます。詳しくは、阿蘇火山博物館(☎34-2111)までお問い合わせください。

他県の参加で復興応援！義援金も募っての開催

大阿蘇火の山ゲートボール旗大会



阿蘇市ゲートボール協会阿蘇支部(高島惟次会長)主催の第32回大阿蘇火の山旗ゲートボール大会が9月10日、旧役犬原小学校グラウンドで開かれました。今年は、豪雨災害からの復興を願い大会を盛大に行おうと、県外にも参加を呼びかけ45チームが参加。地元で被災したという方も参加し、元気にプレーを楽しめました。

結果は、1位：高千穂チーム、2位：内牧チーム
3位：塩塚チームとなりました。

なお、今大会では災害復興への義援箱が置かれ、多くの参加者にご協力いただき、義援金が市役所に届けられました。

地元の高校生が阿蘇ジオパークを学び研究

11月に「日本ジオパーク全国大会」で発表



阿蘇ジオパーク協議会が行っている環境学習プログラムの一環として、地元高校生による阿蘇火山の学習が行われています。

取り組んでいるのは阿蘇中央高校の科学部員7人で、阿蘇山の成り立ちや防災について専門的に学んでおり、9月9日には、中岳火口や砂千里ヶ浜などの現地で阿蘇火山博物館の学術顧問から説明を受けるなど終日学習に取り組みました。

今後も学習を進め、阿蘇の若者を代表して、11月2日から4日にかけて高知県室戸市で行われる「日本ジオパーク全国大会」で、意見発表を行う予定です。

阿蘇市のニュースをお届けします

フラッシュニュース

阿蘇の農業を「世界農業遺産」に！ 推進協議会が設立

阿蘇地域世界農業遺産推進協議会設立に向けた総会が9月19日、阿蘇ホテルで開催され、蒲島県知事をはじめ阿蘇地域の市町村長、農業・商工・観光業関係代表を委員とした推進協議会が正式に設立しました。

世界農業遺産とは、次世代に継承すべき重要な農林水産業や生物多様性、農業景観などを保全する仕組みを国連食糧農業機関（FAO）が認定するものです。現在、登録されている地域は、海外で17ヶ所、日本では、「トキと共生する佐渡の里山」と、「能登の里山里海」の2ヶ所です。

阿蘇の農業は、カルデラなど活火山一帯、また、千年の歴史ある草原での伝統農法や農耕神事が多

く残っていること、高冷気候や水環境に恵まれた食の宝庫であることなどから、登録が期待されます。

関係者は、「世界農業遺産を目指すことで、皆で阿蘇の農業について真剣に考えるきっかけになれば」と話されます。

▶設立総会の様子。



秋の行楽には列車の旅を

豪雨災害で休止していた「あそぼーい！」が運行開始



九州北部豪雨災害により運休となっていた、JR豊肥本線（熊本一宮地駅間）の運行再開に伴い、特急列車「あそぼーい！」も9月8日から運行が再開されました。夏休み期間中に運休という痛手を受けましたが今後、誘客を積極的に行おうと、8日は熊本駅で出発式が盛大に行われ本市の観光協会や女将の会なども参加しました。本市でも歓迎の催しが行われ、阿蘇駅では、黒川保育園の園児が小旗を振りキャラクターと共に迎え、「阿蘇の水」を配りました。宮地駅でも古神繁栄会、地域婦人会、まちづくり阿蘇一の宮などの皆さんがお出迎えし、阿蘇観光を盛り上げました。

避難所の方々への思い「まずは食べてください」

阿蘇市地域赤十字奉仕団炊き出し本部 閉所式



九州北部豪雨災害発生後の7月12日から立ち上げられた「阿蘇市地域赤十字奉仕団炊き出し本部」が、避難所の閉所と同日の8月31日炊き出しを終了し、その閉所式が、作業場となった古神学習センターで行われました。

炊き出しは、阿蘇市地域婦人会（神保京子会長）の皆さんによるもので、毎日昼夜の、献立・買い出し・調理の作業に、延べ534人が協力されました。7月末まで市内避難所へ1日1食を用意。8月1日から31日まで坂梨公民館の避難所へ1日2食を用意され、延べ4,307食を作られました。